

「あまみ地域づくり褒賞」受賞者一覧

年度	区分	個人 団体	団体名	所在地	功績概要
5	表彰状	個人	鈴木 るり子	奄美市	郷土料理研究家・シマムタ伝える会会長として、奄美大島の文化や方言の保存・継承について取組を行っており、これまで、奄美大島の食文化に関する講演や執筆活動、メディアの取材対応、ラジオでの島口語り部など幅広い活動を行ってきた。文化庁主催の「危機的な状況にある言語・方言サミット」に奄美大島話者代表(H29.R3~5)として出席し、県外の各開催地で方言を披露したほか、言語学研究者の調査等に協力するなど、島内外で方言の保存・継承に尽力している。
5	表彰状	個人	宮永 誠	伊仙町	伊仙町肉用牛振興会会長、伊仙町農業委員会会長、徳之島用水土地改良区理事長、鹿児島県農業共済組合南大島支所統括理事など多くの要職に就き、若手のオピニオンリーダー的存在として、奄美群島内の肉用牛振興に重要役割を果たしている。また、管理団体「かいなどう」を設立し、町堆肥センターの運営に直接関わりながら、令和5年度に県肉用牛振興協議会大島支部が実施した給与試験では実証農家として協力し、冬期粗飼料が不足しがちな奄美群島において、ハカマロールが粗飼料の一部として利用出来ることを実証するなど、伊仙町の農業振興・発展に取り組んでいる。
5	表彰状	団体	鹿児島県建設業協会奄美支部	奄美市	建設業従事者とのふれあいを通じ、子どもたちに建設業をより身近に感じてもらい、建設業が将来の職業選択のひとつになることを目的に、「土木フェスタinあまみ」を毎年開催し、10回目の開催となる今年は約6,000人の来場者が訪れるなど、建設業の人材確保に貢献しているほか、清掃活動や長浜みなど公園の伐採作業など、長年にわたるボランティア活動を通じて、世界自然遺産の島としての美化活動やイメージアップにも貢献している。また、令和5年6月の豪雨災害において、支部の会員企業が被災直後から、速やかな初動対応を講じるとともに、交通規制や主要道路の早急な交通確保と二次災害防止措置等により地域住民の安全確保に大きく貢献した。
5	表彰状	団体	特定非営利活動法人「TAMASU(たます)」	大和村	地域資源や地域住民の得意分野を活かした、自然・文化を体験できるプログラム「奄美大島国直集落まるごと体験交流」の実施や、集落独自のローカルの策定により、集落の自然や文化、コミュニティなどを守りながら、人々の暮らしと観光の共存を目指した地域づくりに貢献している。また、集落住民による話し合い活動等を通して、地域の意見を取り入れた地域活性化を行い、住民一体となったまちづくりを実践するなど、奄美群島内において先進的な取組を行っている。
5	表彰状	団体	天城町地域女性団体連絡協議会	天城町	昭和29年4月に正式に結成し、「心豊かで明るい住みやすい町づくり」を目標に会員一丸となって励んでおり、「私たちにできること」を合い言葉に天城町イベントや様々な社会活動、奉仕活動をしている。今年で36回目となるトライアスロンin徳之島大会では、選手のおもてなし部門を引き受け、島の料理などを振る舞うなど大会を盛り上げた。鹿児島県団体トライアスロン競技(会場:天城町)では、マスの指導や花いっぱいフラワーロード運動に積極的に参加し、選手の応援及び地域の活性化を図った。
5	表彰状	団体	特定非営利活動法人「よろん出産子育て応援隊 あんまあ〜ず」	与論町	離島という地理的条件により、子育てに関する体験・知見の機会が少ない中で、親子のつながりや、妊娠・出産、子育て世代の支援・交流を促進する取組に加え、令和4年7月に子育て世帯の居場所となる施設「ASiBee」を開設し、子どもを中心として多世代の交流ができる居場所づくりなどを実施しており、地域の子育て支援及び教育に貢献している。また、沖縄県那覇市に妊婦専用の出産待機施設を開設するなど活動を広げている。
5	感謝状	団体	宇検建友会	宇検村	令和5年6月の奄美大島南部の大雨により、宇検村・瀬戸内町の広範囲で、被災直後から同協会会員企業が被災箇所に出勤し、土砂の除去、土嚢の設置など、昼夜を問わない速やかな応急対応で、早期の道路啓開がなされ、地域住民の安心安全の確保に大きな貢献があった。
5	感謝状	団体	瀬戸内建設業協会	瀬戸内町	令和5年6月の奄美大島南部の大雨において、宇検村・瀬戸内町の広範囲で、被災直後から同協会会員企業が被災箇所に出勤し、土砂の除去、土嚢の設置など、昼夜を問わない速やかな応急対応で、早期の道路啓開を行い、地域住民の安全確保に大きく貢献した。また、瀬戸内町久慈地区で発生した土石流により、川内川が埋塞し、集落の浸水被害が発生した際、同協会会員企業が土砂や流木等の除去など応急対応を行い、二次災害の防止に尽力した。
4	表彰状	個人	武元 晴輝	徳之島町	令和4年10月に本県で開催された全国和牛能力共進会(通称:和牛オリンピック)の第6区において、金メダルを獲得した「亀吉」号を生産、6ヶ月齢まで育成した。今回の受賞は、これまでの改良の取組や培われた子牛育成技術によるところが大きく、奄美群島における史上初の快挙であり、県内外に広く大島産子牛の向上性を示し、家畜市場全体の評価を高めるとともに、肉用牛繁殖経営者の生産意欲の高さにも寄与している。
4	表彰状	個人	富出 博史	伊仙町	珈琲農園を営みながら、若手生産農家の育成や中学生向けのコーヒーの苗の植え付け体験の実施など地域に密着した活動に取り組むとともに、島外からボランティアを受け入れ、農業を通じた人材育成の場を提供している。また、コーヒーの木に着目し、これまで捨てられていた部分に価値を見だし、新商品を開発することで、生産者の増収や雇用機会の増加につながる取組を行っており、地域産業の振興に貢献している。
4	表彰状	個人	幸山 忠重	伊仙町	長年にわたり、町内の各小中学校に門松や手作り竹馬の寄贈をするなど献身的な活動を行うとともに、集落の伝統芸能の継承や竹細工を通じた昔遊びを子供たちに伝える活動を通して、青少年健全育成に貢献している。
4	表彰状	個人	長谷川 千代子	知名町	平成11年に、沖永良部芭蕉布工房を設立して以来、長年にわたり、伝統工芸品である芭蕉布の普及や後進の育成に取り組んでいる。県内外の工芸品コンクール等で多数受賞する一方、芭蕉布製品の寄贈や芭蕉布づくり体験会の開催など、沖永良部の特産品・伝統工芸品である芭蕉布を次世代へ引き継ぐ取組を行っており、地域産業の振興に大きく貢献している。
4	表彰状	団体	若葉会	龍郷町	平成25年にサロン活動「どうさ会」の運営を開始し、月1回のサロン活動では、体操、レクリエーション、茶話会、食事会、美化活動などを行い、高齢者の介護予防・健康づくりに貢献している。また、花壇の美化活動や子ども達との餅つき大会など、子どもから高齢者まで、地域の方々が集い交流を深める場を提供しており、地域活性化に貢献している。
4	表彰状	団体	瀬留どうさ会	龍郷町	平成24年にサロン活動「どうさ会」の運営を開始し、月2回高齢者向けのサロン活動では、レクリエーション、介護予防体操、茶話会などを行い、高齢者の仲間・居場所づくりや介護予防・健康づくりに貢献している。これらの活動を継続して実施しており、地域活性化に貢献している。
4	表彰状	団体	西伊仙東棒踊り保存会	伊仙町	平成27年に保存会を設立し、令和元年度に町文化財に指定された約100年続く棒踊りの伝統文化継承活動に取り組んでいる。子どもの誕生祝いや成人祝い、新築棟上げ式等で舞を披露するとともに、担い手の育成を行うなど、地域生活に根ざした伝統文化の継承に大きく貢献している。

「あまみ地域づくり褒賞」受賞者一覧

年度	区分	個人 団体	団体名	所在地	功績概要
3	表彰状	団体	男女共同参画あまみ会議	奄美市	長年にわたり、男女共同参画社会の推進に関する各種研修会や交流会、市民啓発活動を継続して行い、「一人ひとりが生きやすい社会」「男女共同参画社会」の形成を目指した地域づくりに貢献している。 また、新たに生理用品を無償配布する「生理の貧困プロジェクト」に取り組むなど、今後もさらなる活動の展開が期待される。
3	表彰状	団体	女声合唱団 ラ・メール	奄美市	長年にわたり、地域行事はもとより、国内外での公演活動を通して、島唄をはじめとする奄美文化の魅力を発信するとともに、その芸術性の向上に尽力してきた。 沖縄の音楽家と交流しながら、奄美の島唄をモチーフとした合唱曲をはじめとするオリジナルの楽曲を数多く制作し、積極的に沖縄・台湾で公演活動を行うなど、奄美と沖縄の文化交流にも貢献している。
3	表彰状	団体	喜界島言語文化保存会	喜界町	喜界島の方言「シマユミタ」の保存や次世代への継承を図るため、島の子ども達に「シマユミタ」で狂言を演じることで方言を教える活動「わらび・しまゆみた狂言」や県内外での講演活動を行うとともに、島内のバス停にシマユミタで集落名を記した表示板を設置するなど、地域における方言の保存・継承や機運醸成に貢献している。
3	表彰状	団体	きかい100スポーツクラブ	喜界町	設立当初から総合型地域スポーツクラブとして、幅広い世代の地域住民を対象としたスポーツイベントや健康増進イベントを開催し、地域住民がスポーツに参加する機会を提供している。 スポーツを通じた地域コミュニティづくりや健康増進に大きく貢献しており、今後も地域コミュニティの中心としての活動が期待される。
3	表彰状	団体	NPO法人海の再生ネットワークよろん	与論町	与論町など関係機関と連携を図りながら、サンゴ礁生態系の保全に向けた調査研究やモニタリング等を行うとともに、地元住民への説明会・講演会や、小・中・高校生を対象とした環境教育、海洋教育プログラム等の実施による啓発・普及活動など、与論島の豊かな自然環境と観光資源の保全・改善と持続可能な地域社会づくりに向けた先駆的な取組を実施している。
2	表彰状	個人	保池 久	宇検村	台風の被害を受けにくい「肉用牛」に着目し、平成5年に肉用牛経営を開始。平成8年に「有限会社大都(おと)肉用牛生産組合」を設立し、暖地型牧草の利用と放牧による自給飼料基盤に立脚した大規模経営に発展させた。 平成20年には「鹿児島県指導農業士」に認定され、新規就農者・青年農業者への助言・指導を行うほか、地域の模範となり得る放牧を取り入れた特色ある肉用牛経営、遊休化した桑園跡地の活用、飼養管理技術などの普及に協力するなど、奄美農業の発展に尽力している。 なお、農業以外にも、建設業では「令和2年度鹿児島県環境林務部公共事業優良工事」を受賞し、また、長年に渡る消防団活動などで地域に幅広く貢献している。
2	表彰状	団体	たつごう在宅家族の会	龍郷町	介護経験のある家族と町内診療所の医師で介護者や認知症の方本人の拠り所として平成24年に設立。 在宅で介護をしている家族や認知症の方本人が集い、思いを語り合える場として、毎月1回カフェを継続して開催している。一息つけるような場を提供することで、医師によるアドバイスや介護をしている家族同士が語り合い繋がりができ、安心して暮らせる地域づくりに貢献している。
2	表彰状	団体	中勝どくさ会	龍郷町	平成23年度より、商店の一部を借りて地域の人が集い、気になる人の安否確認をし合える場として寄り所を設置し、一人暮らしの方や買い物の方が集い見守りミニサロンとなっている。 月2回、公民館を利用して世代間のふれあいの場としてサロンを開催。そのうち、月1回の食事会では、栄養バランスを考えたメニューを考え推進員で調理し提供している。サロンではレクリエーションや自分たちで考えたゲームを実施し、地域の人との交流を深める場ともなっており、地域活性化へつながっている。
2	表彰状	団体	秋名さねん花	龍郷町	平成23年10月支え合いマップ作りを実施し、地域の課題や支援の必要性に気づき「秋名さねん花」を設立。若い年代のメンバーも加わり、現在では30～80代で活動を行っている。 サロンの開催や商店の一部を借り高齢者の集いの場としてお茶会をしながら楽しみや仲間づくりに繋がっている。 地域の人の困りごとのお手伝いや高齢者の見守り、小中学生の登下校見守り、子ども食堂などの取組を継続して行っている。子ども、高齢者、障がい者も安心、安全に生活できるよう共生の地域づくりが行われ、地域活性化に繋がっている。
2	表彰状	団体	徳之島子ども劇場	徳之島町	「県内すべての子どもに年に一度は生の舞台を！」という1989年鹿児島県子ども芸術祭典をきっかけに1991年に設立され、現在4才～70才までの100名で活動している。 年3、4回鑑賞例会や自主活動(公演団体と事前ワークショップ)、ダンスワークショップ(プロのダンサーを招き、地元の民謡とコラボしたストリートダンスを2015年に鹿児島で開催された国民文化祭や毎年本町文化協会主催の町文化祭に出演)を開催している。 来年設立30周年を迎え、今後も地域とつながり徳之島の子ども達の文化芸術を通じた心の教育の推進に大きく寄与することが期待されている。
2	表彰状	団体	徳之島町生活研究グループ連絡協議会	徳之島町	戦時中の食糧難から島民の命を救ったソテツの実の加工技術(ナリの製法)の継承や特産品の「ばれいしょ」の付加価値向上に向けた商品化、徳之島町産業祭などでの販売などを行い、徳之島の食文化の伝承活動や女性の経済的地位向上に貢献している。 1年中加工ができる加工施設の設置を町に要望し、平成5年に農産加工センターが完成。 味噌加工や加工技術リーダー研修により、農産加工活動や農産物販売所の設置数が増加した。 今後も、「そてつ味噌」や「じゃがいも味噌」等の特産品の加工販売を通じて、若手の育成や地域産業の発展に大きく貢献していくことが期待される。
2	表彰状	団体	障害児通所支援施設キノコにじいろクラブ	伊仙町	令和元年5月に開所し、作業療法士や音楽療法士を中心に発達に関する専門性を持った職員が子ども達の早期療育を行い、発達に特性がある子ども達と、その家族をサポートしている。マンツーマン以上の人員配置や子ども一人ひとりに合わせたオーダーメイドの支援、定期的なケース検討、そして職員の知識や技術向上のための研修等に力を入れている。特に音楽療法を取り入れているのは、大島郡内では当所のみ。 保護者をはじめ園や学校の先生からも、半年から1年の通所により子どもの成長を感じているとの評価を得て、見学や研修の依頼も多い。 令和2年9月より、セラピストによる完全個別プログラム「ペアレントトレーニング」(保護者において家庭でもできるトレーニング)を行い、家庭でも出来るホームプログラムを推奨・提案するなど、今後の取組も期待される。
2	表彰状	団体	徳之島ビジョン株式会社	伊仙町	町内の光ファイバー網の管理保守をはじめ、徳之島全域の光インフラの発展に寄与するとともに、直売所「百菜」の運営、島内全戸に毎週無料で配布している「水曜ガイド」の発行、PC教室やセミナーの開催など、地域の活性化に貢献している。

「あまみ地域づくり褒賞」受賞者一覧

年度	区分	個人 団体	団体名	所在地	功績概要
2	表彰状	団体	株式会社 モスク・クリエイション	伊仙町	平成30年9月にサテライトオフィス「伊仙町オフィス」を開設し、地元住民を雇用するとともに、徳之島3町の地域おこし協力隊と協力して、フリーペーパー『ほっとの』（日本地域コンテンツ大賞2020の観光部門で優秀賞受賞）を発刊し、徳之島内外へと幅広く島の情報を発信するなど、地域の活性化に貢献している。
2	表彰状	団体	和泊町連合青年団	和泊町	コロナ禍の中でも積極的に活動を行い、マスクを手作りし、老人ホームへの提供や、イベントの縮小・中止となった子供達の思い出作りのため「ギネス世界記録町おこしっぼん」への挑戦など明るい話題を提供し、和泊町の地域活性化に貢献している。
2	表彰状	団体	特定非営利活動法人 ヨロンSC	与論町	設立当初から地域住民に対してスポーツ教室やイベントを開催するなど、子どもから高齢者まで気軽にスポーツや文化活動を実施できる環境を整えている。 また、町民の1割が会員になっており年間を通して述べ1万人以上が活動に参加していることから、コミュニティづくりや健康増進・競技力向上に大きく貢献している。 これまで長年に渡り公共施設の管理運営を通して、施設の整備やサービスの向上に努め町民の利用促進を行っており、今後も地域コミュニティの中心として活動していくことが期待される。
元	表彰状	個人	昇 睦朗	奄美市	昇氏は、奄美市土地改良区設立当時（H11）から監事として土地改良区運営等に携わり、平成23年12月からは、土地改良区理事長に就任され、奄美市笠利町の畑地かんがい推進や改良区の職員指導・運営に尽力が注がれた。 令和元年12月をもって勇退されるが、長きにわたり土地改良区役員として奄美市の農業振興を支援されるなど多大な貢献を行った。
元	表彰状	個人	元井 孝信	奄美市	元井氏は、奄美大島の基幹品目である「たんかん」を中心に規模拡大を図るとともに、近年、推進している中晩柑の新品種「津之輝」をいち早く導入し、実証ほ設置の協力を行うなど、当地における同品種の栽培技術確立に積極的に取り組んでいる。 JAあまみ果樹部会において部長等を歴任し、奄美大島の果樹産地を牽引してきた。 平成8年度に鹿児島県指導農業士に認定され、地域の新規就農者や青年農業者の育成に貢献してきた。 平成29年に奄美市教育委員に任命され、農業以外の分野でも幅広く地域へ貢献している。
元	表彰状	団体	奄美市認知症のひと 家族と支援者の会 まーじんま	奄美市	自身が親などを介護した経験を元に、同じ思いや経験をしている有志が集まって、平成26年度に「奄美市認知症のひと家族と支援者の会 まーじんま」が設立されて以来、認知症高齢者本人や家族に対する支援を行っている。 また、地域住民の認知症に対する理解を深めるための例会、カフェ、広報活動等を実施し、地域に介護者同士のつながりをつくり支えとなる場を提供することで、認知症ケアの質の向上を図り、安心して暮らせる地域づくりに多大なる貢献をしている。
元	表彰状	個人	吉玉 誠一	伊仙町	30年程前に徳之島に移住し、コーヒー栽培を開始。苦難の中、独自で風土に適した栽培方法の模索を行っている。島内における栽培の普及活動を行い、平成21年度には、「徳之島コーヒー生産者会」を発足し、会長の重責を担い続けている。生産者も増加し、10種類におよぶ多種の品種が栽培され、国産コーヒーの生産地としての地歩を固めていく中心的な存在となっている。 また、コーヒー栽培のほかキャッサバ（タピオカ）等の栽培も意欲的に取り組んでおり、地域活性化に対する情熱は他の範とするところである。
元	表彰状	団体	一般社団法人 「Emore(いもーれ)秋名」	龍郷町	当該団体は、龍郷町の秋名・巖里地区において、子育て世代を呼び込み、にぎやかな集落づくりを目的に、龍郷町の地域おこし協力隊で活動していた村上氏が住民に呼びかけ、平成30年11月に設立された。 空き家を活用した民泊施設「GAMA屋(がまや)」「どらめ屋」をオープンし、観光客などに集落の文化や暮らしを知ってもらう体験型観光をめざし活動している。 団体の活動や地区住民の取組により、若年層のUターン移住者が増加するなど、地域の活性化に大きく貢献している。
元	表彰状	団体	特定非営利活動法人 ねりやかなやレジデンス	和泊町	当該団体は、遊休不動産の流動化を促進し、移住希望者・滞在希望者に住まいを提供する環境を整えることにより、地域経済活動に貢献することを目的に佐藤氏・山腰氏を中心に平成29年に設立された。 農業アルバイトが滞在できる住まい「和泊ドミトリーあぐり」のオープンを皮切りに、田舎での暮らしを体験できる「しま暮らし体験ハウス『なかほ』」や「まっちゲストハウス」を開設し、奄美に居住・滞在する希望者にリフォームした空き家などを提供している。 また、県・市町村と協働し、奄美における空き家対策、移住・定住対策に取り組み、過疎が進む奄美の島々の活性化に大きく貢献している。
30	表彰状	個人	岩下 雅一郎	喜界町	平成12年度農林水産祭「蚕糸・地域特産部門」において地域農業のリーダーとしての貢献等により、さとうきび専作経営が発展できる優良事例として高く評価され、天皇杯を受賞したほか、県農業経営者クラブにおいても、支部活動の充実に貢献しているとして、県農業経営者クラブ45周年記念大会功労者表彰を受けるほか、大島地区指導農業士会での、さとうきびの若手農家への指導を行うなど、大島地区の農業の振興に大いに寄与している。
30	表彰状	団体	奄美柑橘クラブ	奄美市	JAあまみ大島事業本部果樹部会活動の一環として、技術サポートチームによる果樹農家の巡回指導や、園主から作業内容を聞き取り品質向上のための提案のほか、ミカンコミバエ発生時には、防除のためテックス板設置やミカンコミバエの寄主植物の除去作業を行った。 また、たんかんに次ぐ期待の中晩柑品種「津之輝」のブランド化に向けた活動等も行っている。
30	表彰状	団体	屋仁直売所管理組合	奄美市	奄美市一集落1ブランドに認定された、「屋仁ぬたあまん」のPR等を目的に設立された組合で、やにまんてん市場を地域と協力し運営を行っているほか、関西奄美総会での出店や県のまーさんもんパストツアーの受け入れなど、集落主体の直売所運営の模範的な取り組みとして注目を集め、地域資源を生かした産業の振興に貢献している。 また、地域の商店が無いことから、買い物に行けない高齢者のため日用品や食料品を販売するなど、地域支え合いでも欠かせない存在となっている。
30	表彰状	団体	上嘉鉄青年団	喜界町	過疎・高齢化により多くの集落で青年団活動が衰退していく中、上嘉鉄青年団は昭和20年代に発足以来、20代30代の有志が中心となり、地域の盆おどりや敬老会を毎年実施するなど、地域文化の継承に尽力しているほか、廃校になった中学校の文化祭を復活させ、公園や神社の美化清掃活動などを主体的に行い地域活動の活性化に貢献している。
30	表彰状	団体	井之川 「夏目踊り保存会」	徳之島町	昭和51年に発足以降、定期的に保存継承及び担い手確保を行い、地域と一体となって夏祭りや浜下り行事を盛り上げているほか、小中学生に地域文化の保存・伝承の指導を行っている。 また、関東や関西の奄美会での記念事業への参加や、全国民俗芸能大会への出演も行っている。

「あまみ地域づくり褒賞」受賞者一覧

年度	区分	個人 団体	団体名	所在地	功績概要
30	表彰状	団体	うじきれい団	知名町	平成29年に3人姉妹の夏休みの自由研究「夏休みのビーチクリーン活動」から始まり、3姉妹を中心に地域の子供達も加わり、地域や島内の個人団体へ波及し「うじきれい団」としての活動に発展している。 団の活動は、「環境活動」や「環境負荷の少ない暮らし方」を考えるきっかけとなり、人と自然が共生する地域環境づくりに大きく貢献している。 平成30年6月10日日本共生科学会一般公開シンポジウムで紹介され、全国各地のみならず海外からも多くの反応が寄せられている。
30	表彰状	団体	海謝美 (うんじやみ)	与論町	「海に感謝し美しく」との思いから、4年前から悪天候以外毎日与論島に点在する、63カ所のいずれかの海岸を早朝の6時30分から1時間程度海岸漂着ゴミの回収を行っている。この活動によって海岸の景観整備のほか地域住民の「海岸にゴミを捨てない、ゴミに気づいたら拾う」と意識変化へつながっている。 SNSなどを通じ、来島の観光客なども活動へ参加し、与論町の環境整備へ大きく貢献している。
30	感謝状	団体	(一社)鹿児島県建設 業協会奄美支部 村上建設(株) 竹山建設(株) (株)前田建設 (株)大和建設 (株)大友組 (株)伊東組 (株)奄美リサイクル	奄美市 外	平成30年2月に奄美群島沿岸で油状漂着物が漂着した際に、回収器具の手配・設置を早急に行うとともに、自治体を始め多くの住民ボランティアが参加した回収作業に、各社一丸となってボランティアとして参加したほか、取扱・処理が困難とされる油状漂着物について、適切かつ安全に収集運搬・保管を行うことにより、二次汚染の拡大防止に大きく貢献した。
29	表彰状	個人	山田 薫	奄美市	20年以上にわたり、大島地区文化協会連絡協議会会長、奄美市文化協会会長、シマムムタ伝える会会長、奄美六調保存会会長などを務めてきた。 また、平成28年度に与論町で開催された「危機的な状況にある言語・方言サミット」に出席し、奄美方言のおもしろさを全国にPRするなど、近年、衰退しつつある奄美の方言の継承に尽力しており、地域文化の伝承・歴史の保存・伝承と地域に根ざした人材育成に貢献している。
29	表彰状	団体	一般社団法人 奄美猫部	奄美市	世界自然遺産を目指す奄美大島において、野生化した猫が、アマミノクロウサギなど希少野生動物を襲う問題が発生していることから、平成26年7月に有志でボランティア団体「奄美猫部」を設立し、平成28年4月からは一般社団法人として、猫の適正飼養の係普及啓発や捨て猫の譲渡会、勉強会などを開催している。 平成27年11月からは、奄美ネコ問題ネットワーク(自然保護関連3団体)の構成員として出前授業等を開催するなど、人と自然が共生する地域環境づくりに貢献している。
29	表彰状	個人	前山 重一郎	奄美市	平成11年から農業委員を務め、平成22年3月から奄美市農業委員会会長、平成23年度から奄美地区農業委員会連絡協議会会長として、奄美地区の農業発展に寄与している。 また、平成8年に鹿児島県指導農業者に認定され、地域農業のリーダーとして活躍している。 奄美大島の基幹品目であるタンカン等のかんきつ類を大規模に栽培する、奄美果樹のモデル農家である。 奄美大島で栽培推進している「津之輝」の栽培を早い時期から導入し、他の果樹生産者へ情報提供するなど、奄美大島における「津之輝」の栽培技術確立に向けて積極的に取り組むなど、地域資源を活用した農業の振興に貢献している。
29	表彰状	個人	榮 完治	奄美市	平成2年にさとうきび農家として就農して以来、現在は農家で役30haでさとうきび栽培を行っており、昨年は1,186tを達成した。 「ハーベスタ」を導入した平成13年からは、高齢化等により収穫作業が困難となった農家の収穫作業を受託し、受託を合わせた収穫面積は、(株)富国精糖管内の10%強を占めている。 また、指導農業者として新規参入した農業者への技術指導、農地の回転や機械の貸し出し等も行うなど、地域資源を活用した農業の振興に貢献している。
29	表彰状	団体	奄美漁業協同組合	奄美市	瀬物一本釣り漁業者全員の取り組みとして、釣り上げた直後の活き締めする鮮度保持を行い、沖縄県の量販店と直接取り引きを開始し、組合員の所得向上に大きく寄与した。 また、県内漁協初めての取り組みとして、「ウルトラファインバブル」導入による超低酸素水処理などの鮮度保持に取り組んだなど、群島内漁協のモデルとなっており、地域資源を活用した産業の振興に貢献している。
29	表彰状	個人	児島 静男	徳之島町	平成12年から徳之島町母間の「福川」親水方砂防ダム付近の道路約400メートルにわたり、ヒカンザクラ等を自費で植栽した。以後は、一人で剪定等の管理を行い、町内外からの花見客等住民の憩いの場となっている。 また、母間振興会に管理を引き継ぐまで一人で母間港の臨港道路沿いにもハイビスカス等の樹木約170本と花を植栽し、港の環境美化の増進に貢献するなど、人と自然が共生する地域環境づくりに貢献している。
29	表彰状	個人	叶 敏典 叶 太輔	与論町	【敏典氏】 50頭規模の繁殖牛経営を行う傍ら、平成18年に指導農業者に認定され、平成18年から10年にわたり与論町和牛改良組合長も務めている。 また、本年度の第17回大島地区肉用牛振興大会において最優秀賞を4席受賞している。 【太輔氏】 平成25年に就農後、敏典氏とは別に20頭ほどの繁殖牛経営を行うとともに、飼料作物栽培に関する青年プロジェクト活動を行い、平成29年2月に開催された第56回全国青年農業者会議において、農林水産省経営局長賞(優秀賞)を受賞した。 両氏は、親子で飼料作物栽培にも熱心に取り組み、収量、栄養価が高く、気候も適している飼料用サトウキビやバンゴラグラスの栽培にも取り組み、与論町のみならず、大島郡島内の農家へも波及するなど、地域資源を活用した産業の振興に貢献している。
29	表彰状	個人	禎 一馬	東京都	高校卒業後に上京し、三味線を使ったシンガーソングライターとして音楽活動を開始。島の自然や人の温かさをテーマにした曲が多く、島内の保育所や小中学校の運動会、文化祭等で禎氏の曲に合わせて踊る光景が見られるなど、幅広い年齢層に親しまれている。 また、平成27年に開催された第30回国民文化祭に向けて発足した「結シアター手舞」に楽曲を提供したほか、トライアスロンIN徳之島大会の競技終了後のパーティーにおいてフィナーレを飾った。 平成20年に徳之島初の観光大使に任命され、歌を通して徳之島のPRを積極的かつ継続的にを行い、観光の振興に貢献している。

「あまみ地域づくり褒賞」受賞者一覧

年度	区分	個人 団体	団体名	所在地	功績概要
29	表彰状	個人	菊 秀史	与論町	母が設立した与論民具館(現与論民俗村)を引き継ぎ、島内から収集した民具の展示、管理を行っており、管理している民具は平成26年に町の有形民俗文化財として指定された。 また、与論の方言(ユヌフトゥバ)の保存、伝承に深く関わっており、平成13年からは公民館において子どもたちを対象とした勉強会を開催、平成14年からは町内の小学校において方言の授業を開始、方言に関する著書も多数刊行するなど、地域の文化・歴史の保存・伝承と地域に根ざした人材育成に貢献している。
28	表彰状	団体	NPO法人 奄美野鳥の会	奄美市	毎月、探鳥会を開催するとともに、会報の季刊発行やガイドブック、野鳥図鑑等の出版も手がけるなど、自然保護の普及啓発活動を積極的に行っている。 また、オオトラツグミの羽数一斉調査や、環境省及び林野庁の委託によるアマミヤマシギやアマミノクロウサギの生態調査、東京大学及び上野動物園との共同でルリカケスの繁殖調査も実施しており、自然保護に係る普及啓発活動等、世界自然遺産登録の推進に貢献している。
28	表彰状	団体	やまとすももの会	大和村	地域の住民が中心となり、障がい者本人が活動へ参加することで楽しさや生きがいとなるよう、野菜作り、小物づくり等を週2回行っており、作成したものは、村内外のイベント等で販売し、障がい者本人の収入となるよう障がい者支援に貢献している。
28	表彰状	団体	川内さくら会	龍郷町	平成23年に活動を開始し、支え合いマップの作成や、地域の児童、高齢者、障がい者などの困りごとの手伝い、火の用心ウォーキングなどを行っており、地域の支え合い、地域の活性化、安心・安全に貢献している。
28	表彰状	個人	里山 智昭	瀬戸内町	サトウキビの鞭頭部等を牛の飼料として活用し、それにより生産された堆肥をサトウキビ圃場へ還元する「循環型農業」への取り組みや、県農業指導士として、新規就農者や担い手の育成に尽力するなど、瀬戸内町農業の発展に貢献している。
28	表彰状	団体	奄美市土地改良区	奄美市	桜マラソンのコースとなっている須野ダム等の土地改良施設の維持管理を行うとともに、農地流動化の推進や耕作放棄地の発生を防止するために農業者と農地のマッチング等にも取り組んでおり、奄美市北部の農業の発展に貢献している。
28	表彰状	団体	母間校区振興会	徳之島町	明るく豊かな校区づくりを目指し、各種スポーツ大会への参加や夏祭りの開催などを行っている。 今年度は、「母間騒動200周年記念式典とシンポジウム」を開催し、「母間騒動」を専門家の視点から検証するなど、校区の文化の振興、健全育成等に貢献している。
28	表彰状	団体	結ンアター手舞	天城町	第30回国民文化祭に向け、平成26年9月に発足。 メンバーは町内の中高生及び青年団であり、国民文化祭天城町主催事業に出演したほか、町内の小中学校等でのイベントで方言を盛り込んだミュージカルを開催するなど、地域の若い世代が減少する中、地域の文化の継承、地域活性化等に貢献している。
28	表彰状	団体	名水のむらジッキョ、 自立・創造委員会	知名町	「集落を元気に」を活動理念に、集落散策ガイド、やさい市、環境美化活動などのほか、夏休みに子どもたちの勉強の場を提供するなど、地域の文化の継承、活性化に貢献している。
27	表彰状	団体	奄美哺乳類研究会	奄美市	平成元年に奄美哺乳類研究会を発足。マンガースの生息分布、食性、繁殖状態、種の特定、生息数推定などの調査研究や普及啓発に取り組んできた。当研究会の調査により、マンガースが急増し、希少野生生物を捕食していることが判明し、これを受けて、国、県、市町村による駆除事業が行われるなど、奄美の希少野生生物の保護、自然環境の保全に大きく貢献している。
27	表彰状	団体	安木屋場にここに会	龍郷町	サロンの運営にあたり、男性参加者の増加に取り組み、認知症高齢者や要介護高齢者の参加支援、小中学生との交流など工夫がみられ、地域全体の支援として展開している。 また、地域の方々を対象にゴミ出しや掃除の支援、閉じこもりの防止として、在宅でのお茶飲み会を開催するほか、小中学生の登下校支援などの活動にも取り組み、地域の活性化に貢献している。
27	表彰状	団体	奄美群島水産青年協議会	奄美市	平成6年、群島内の漁協青年部・青壮年部・漁協から推薦された組合員で設立。「お魚まつり」や地元小学校等での魚の裁き方教室、水産物の提供等を通して、地産地消・食普及に永年尽力するとともに、海洋環境の保全に向けた藻場造成や、新たな収入源としてブルーツーリズムの研修を行うなど活動の幅を広げ、さらには、スポーツ大会等で若い世代の意見交換を行い、漁村の活性化、産業の育成・振興に貢献している。
27	表彰状	団体	お達者会・ゆらおう会	瀬戸内町	サロン活動により、高齢者の見守りや安否確認を行うとともに、高齢者同士のふれあいの場をつくることを目的として、平成24年11月に「お達者会」、平成25年2月に「ゆらおう会」を発足。 月2回のサロンでは、島唄や踊り、会食などで交流を拡大し、担い手不足で長年休止していた町の無形文化財「アンドンデー」の復活に至るなど、文化の伝承や元氣な地域づくりに貢献している。
27	表彰状	個人	川畑 さおり	喜界町	奄美島唄の若手唄者として、民謡民部全国大会での内閣総理大臣杯最優秀賞等、多数の受賞歴があり、日本各地はもとより、海外にも呼ばれて公演を行い、奄美独特の民謡である島唄の魅力を国内外に広めている。 また、各地での物産展などにも積極的に参加し、島唄をととして奄美の魅力発信に大いに貢献している。
27	表彰状	個人	永吉輝彦・清美夫妻	徳之島町	永吉輝彦氏は、昭和63年の就農後、人工哺育や畜産改良、人工授精等に取り組み、平成11年から平成27年まで徳之島町肉用牛振興会会長を務めた。現在は、繁殖雌牛約300頭を飼育し、若手畜産家の目標、見本となっている。 永吉清美氏は、夫である輝彦氏と共に4人の子どもの子育てのかたわら、畜産経営に係る經理、子牛哺育に取り組み、大島郡、徳之島町の共進会において、常に上位入賞するなど、地域の見本となる活動を行ってきた。また、女性農業経営士にも認定され、地元雇用の促進や地域振興に貢献している。
27	表彰状	個人	佐藤持久	東京都	長年、東京奄美会の会員、役員、そして、平成18年から22年の4年間は会長として関東の奄美出身者を支援してきた。 地元では、町立図書館設立時の図書購入費寄付、自治公民館連絡協議会発足時の基金寄付、与論高校生の活動を激励するための「与論翔励会」設立など、与論町の振興に貢献している。 また、地元の産業振興のために、日本マルコ株式会社と与論事業所や伊仙事業所の誘致に全面協力して実現させている。 平成21年には与論町民栄誉賞を受賞している。

「あまみ地域づくり褒賞」受賞者一覧

年度	区分	個人 団体	団体名	所在地	功績概要
26	表彰状	団体	宝勢丸鯉漁業生産組	奄美市	長年、かつお一本釣漁業を行い、奄美地域の水産資源を活かした産業の振興や地域の雇用確保に貢献している。また、指導漁業士1名、青年漁業士1名を輩出し、奄美地域の漁業振興や後継者の育成を図っている。 平成25年度からは漁業体験メニューを企画し、修学旅行生の受入れを開始するなど、奄美地域の水産資源を活用したブルーーツーリズムの推進に積極的に取り組んでおり、地域資源を活用した産業の振興に貢献している。
26	表彰状	団体	奄美市女性起業研究グループ 味の郷「かさり」	奄美市	活動の理念に笠利町らしい農林水産物加工品の開発研究や郷土料理等食文化の伝承に取り組むこと、開発研究した加工品の販売活動によって農家の所得向上及び女性の経済的自立と地位向上に努めることを掲げ活動している。 平成25年度には、パッションフルーツと奄美の伝統飲料「みき」を融合させた新発想の商品を開発するなど地域資源を活用した産業の振興に貢献している。
26	表彰状	団体	宇宿ゆいの郷 ティダむらづくり隊	奄美市	設立以来、継続して水土里サークル活動に積極的に取り組んでおり、優良事例地区として本年度の県水土里サークル活動推進大会などにおいて紹介されている。 その活動は、「結いの心で郷土愛」をキャッチフレーズに集落住民を巻き込んだ形で展開され、地域通貨「宇宿縁」を発行するなど独自の取組を行っており、地域の発展に貢献している。
26	表彰状	団体	ホライゾン編集室	奄美市	奄美群島の情熱情報誌「ホライゾン」は、奄美群島の様々な情報を奄美から発信しようと、1995年に創刊された。 以来、20年の長きにわたって島々の自然、文化、歴史、そこに生きる人々など幅広いテーマを取り上げ、奄美入門書としてわかりやすくビジュアルに紹介することを基本に、奄美群島の魅力を群島内外に発信し、地域の活性化や観光振興に貢献している。
26	表彰状	団体	町田酒造株式会社	龍郷町	国道58号沿いの龍郷町大勝地区において、平成18年8月にエラブ百合を植栽したのを機に平成24年度からは「ふるさとの道サポート推進事業」のサポーターとしての認定も受け、四季の花を植栽するなど企業全体で道路の美化活動を実施している。 植栽している延長は、約200mと、認定団体の中でも広範囲に渡っている。 また、「ふるさとの道サポート・タイアップ事業」の支援企業として「ふるさとの道サポート推進事業」の支援に取り組むなど、道路を核とした地域環境の保全向上や共生協働による活力ある地域づくりに貢献している。
26	表彰状	団体	特定非営利活動法人 心音	和泊町	平成25年度鹿児島県地域協働の仕組みづくり促進事業を活用して「循環型社会を目指すエコしまあかり」プロジェクトを実施。沖永良部の貴重な財産であるサンゴ石垣で囲まれたフーヤ屋敷跡地の石垣修復や周辺整備を行い、ペットボトルを活用して1100本のキャンドルを作成し、修復したフーヤ屋敷跡地で「しまあかり」イベントを実施した。 石垣修復やキャンドル作りは、行政、ボランティア団体、地域住民等との協働で実施したもので共生・協働の地域社会づくりのモデルとなるものであり、人と自然が共生する地域環境づくりに貢献している。
25	表彰状	団体	奄旨海房魚匠	奄美市	奄美地域の水産産業の再生を目標に生産から加工、販売までを手掛ける6次産業化にいち早く取り組み、奄美地域の水産資源に付加価値を与えた商品づくりを行っている。地域資源を活用した産業の振興に多大な貢献をしている。
25	表彰状	団体	大棚結(むすび)の会	大和村	おかずの提供やサロン開催等を通じ、野菜をつくる高齢者等の生きがいや集落民同士の交流、健康づくりなどに寄与している。地域資源を活用した元気な地域づくりに多大な貢献をしている。
25	表彰状	団体	国直英(さや)の会	大和村	野菜づくりの指導や畑づくりの支援を通じながら、地域住民の見守りや声かけを行っている。地域資源を活用した元気な地域づくりに多大な貢献をしている。
25	表彰状	団体	湯湾釜ハッピースマイル	大和村	野菜づくりをいかし、それを販売目的だけではなく、見守りや声かけ、困り事対応等の視点につなげ、高齢者等の生きがいづくりや健康づくりに貢献している。地域資源を活用した元気な地域づくりに多大な貢献をしている。
25	表彰状	団体	名音ティダの会	大和村	サロン定期開催を通じ集落民だけでなく集落外の方同士でのふれあいの場づくりや、見守り声かけ、交流等の機能をつくっている。地域資源を活用した元気な地域づくりに多大な貢献をしている。
25	表彰状	団体	阿室校区活性化対策委員会	宇検村	親子留学制度を導入しホームページで全国発信し、阿室小中学校の生徒数を3倍(21人)に増やした。休耕地を活用したニンニク栽培(H25.9～)による産業活性化につなげる取組も行うっており、安心・安全で活力のある生活空間づくりに多大な貢献をしている。
25	表彰状	個人	竹内逸次	徳之島町	平成2年頃に徳之島町に移住し平成11年頃から生産牛の飼育を始め、若手の家畜人工授精師に助言等や若手の畜産農家への技術指導などを行い後継者育成や地域振興に多大な貢献をしている。
25	表彰状	団体	浅間集落	天城町	浅間集落は、トライアスロン大会バイクゴールとスタート地点となっており、参加選手・観光客のための沿道の美化活動を行っている。空港道路沿いの花壇の整備など美化活動を続けており、他の集落の模範となっており、地域の発展に多大な貢献をしている。
25	表彰状	団体	特定非営利活動法人 徳之島虹の会	伊仙町	徳之島の希少野生動植物の保護活動をはじめ、勉強会や写真展の開催などの島内外に向けた啓発・PR活動、地域の各種団体と協働した廃棄物除去等の清掃活動などに主体的・積極的に取り組んでおり、人と自然が共生する地域環境づくりに多大な貢献をしている。
25	表彰状	個人	長田米隆	和泊町	沖永良部花き流通センターの法人化に当たって、その代表者として尽力し、花き専門農協を設立した功労者である。花き農協設立後は代表理事組合長として、「えらぶゆり」のかごしまブランド産地指定など、現在まで沖永良部の花き振興に多大な貢献を行っている。
25	表彰状	団体	与論町商工会青年部	与論町	与論島を「人生ゲーム」に見立て、大型ルーレットで島内をめぐるユニークな取組により、住民との交流を深めることで、町おこしと台風被害からの復興に貢献。全国商工会連合会のネットワークづくり部門で受賞するなど地域の発展に多大な貢献をしている。
25	感謝状	団体	社団法人鹿児島県建築協会奄美支部	奄美市	平成25年10月に襲来した台風により家屋等に甚大な被害が生じた与論町において、被災した家屋等の復旧作業へ人員を派遣するなど住民の安全確保と復興の円滑な推進に多大な貢献をした。
24	表彰状	団体	奄美島ラジオ体操制作実行委員会	奄美市	奄美の方言を保存・伝承するために誰もが気軽に実践できる「奄美方言島口ことわざかるた」や奄美群島8地域の島口に置き換えた「奄美島ラジオ体操」を制作するなどのユニークな取組で奄美地域文化の保存・伝承活動に多大な貢献をしている。

「あまみ地域づくり褒賞」受賞者一覧

年度	区分	個人 団体	団体名	所在地	功績概要
24	表彰状	個人	平井 學	奄美市	台風の常襲地帯である奄美において、たんかん栽培には防風樹が不可欠であると判断し、苗木植栽前に防風樹の植栽を行った。今では、防風樹の植栽は当然であるが、平井學氏はその先駆けである。 ぼんかんに代わる中晩柑類についていち早く「はるみ」を導入し、鹿児島本土では年明けにしか収穫できない品種が温暖な奄美では年内に収穫できることを発見した最初の農家である。また、現在もたんかんを補充する次の有望中晩柑品種を模索中であり、奄美の果樹を担う若手農家のために日々努力を続けている。 奄美の果樹を一つにまとめ、果実品質が保証される最新設備を搭載した選果場建設のため行政や農協に積極的に働きかけた第一人者であり、同氏が動かさなかったら、奄美大島選果場は完成しなかった。 以上、奄美を代表する果樹農家として、また農業全体のリード役として多大な貢献をしている。
24	表彰状	団体	特定非営利活動法人 親子ネットワークが じゅまるの家	徳之島 町	平成17年設立以来、離島におけるお産の現状や課題を住民や関係者と共有しながら、安心して妊娠・出産、子育てができる町づくり活動を行い、ICTを活用した妊産婦や子育て世帯へのサポートにより、常に産科休診等の不安を抱える離島における「安心して出産や子育てができる環境づくり」へ多大な貢献をしている。
24	表彰状	団体	特定非営利活動法人 沖永良部島食育サ ポートあくヘルシー	知名町	沖永良部島に根ざした食文化の継承と生活習慣病の予防と改善策の各種研修や地産地消など食を通じた健康づくりに関する普及啓発活動を実施することにより健康長寿のまちづくりに多大な貢献をしている。
24	感謝状	団体	知名町建設有志会	知名町	平成24年9月に襲来した台風15号及び16号の強風により県有防風林の敷地及び県道等に散乱した倒木等の除去を速やかに行ない、地域の交通安全及び住民の安全確保に多大な貢献をしている。
23	感謝状	団体	特定非営利活動法人 ディ！	奄美市	平成22年10月の奄美豪雨災害において、通信等の途絶で地域住民への情報提供が困難な中、あまみエフエム放送を通じて、24時間体制で交通・通信等情報、安否確認情報、応援メッセージなど地域に密着した災害情報をリアルタイムに提供し、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
23	感謝状	団体	社団法人鹿児島県建 設業協会奄美支部	奄美市	平成22年10月の奄美豪雨災害において、支部の会員企業が被災直後から道路の被災箇所の把握、土砂の除去、土のう設置等の速やかな初動対応を講じるとともに、交通規制や主要道路の早急な交通確保と二次災害防止措置等により、地域住民の安全確保に多大な貢献をした。
23	感謝状	団体	社団法人鹿児島県測 量設計業協会	鹿児島 市	平成22年10月の奄美豪雨災害において、被災直後から協会の会員企業26社69名が現地入りし、被災現場の踏査をくまなく実施するとともに、写真撮影、概略図の作成等を行って、被災箇所の状況を迅速に調査・報告したことにより、災害復旧の円滑な推進に多大な貢献をした。
23	感謝状	団体	特定非営利活動法人 鹿児島砂防ボラ ンティア協会	鹿児島 市	平成22年10月の奄美豪雨災害において、被災直後から延べ39名の会員が現地入りし、土砂災害崩壊現場96箇所の踏査を実施するとともに、崩壊状況の図面作成や砂防堰堤等の点検を行って、被災箇所の状況を迅速に調査・報告したことにより、災害復旧の円滑な推進に多大な貢献をした。
23	感謝状	団体	かごしま河川ボラ ンティア協会	鹿児島 市	平成22年10月の奄美豪雨災害において、被災直後から11名の調査スタッフが現地入りし浸水被害のあった管内6河川の踏査をくまなく実施するとともに、浸水範囲の確認や洪水痕跡の発見、写真撮影等を行って、被災箇所の状況を迅速に調査・報告したことにより災害復旧の円滑な推進に多大な貢献をした。
23	表彰状	団体	社会福祉法人 三環 舎	奄美市	平成18年に設立されて以来、障害者の雇用機会確保等に尽力しているとともに、平成23年には、県内で4箇所目となる「あまみ障害者就業・生活支援センター」の運営を受託するなど、障害者の職業生活における就労移行支援及び自立支援に多大なる貢献をしている。
23	表彰状	団体	社会福祉法人 カリタ スの園「白百合の寮」	奄美市	家庭環境に恵まれない子どもたちの養護及び自立のための支援を永年にわたって行い、九州地区児童福祉施設の球技大会(男子軟式野球)で平成22年及び23年に2年連続優勝を果たすなど、スポーツを通じ、地域に根ざした人材育成に貢献している。
23	表彰状	団体	よんよ〜り喜界島	喜界町	平成21年に発足以来、シマの歴史や風土等についてボランティアでまち歩きガイドを行うとともに、ガイドの技術向上を目指し島外地域への研修や情報収集等にも積極的に取り組み、また、今年度はシマあるきマップも作成するなど、喜界島のイメージアップや観光振興に貢献している。
23	表彰状	団体	松原西区集落	天城町	住民自らの手で数ヶ月をかけて、全島規模の闘牛大会が開催される闘牛場を完成させたほか、集落主催の市を開催するとともに、集落内の花壇整備などの地域美化・環境保全に熱心に取り組むなど、活発な自治活動により活力あるシマづくりに貢献している。
23	表彰状	団体	木之香集落	伊仙町	徳之島の稲作を約40年ぶりに復活させるとともに豊年祈願である「むちたぼれ」の伝承のため稲作から豊年祭りまでを一貫して実施し、また、さくらの植樹などの環境美化活動への取り組みなどの活発な自治活動により、地域文化の保存・伝承に貢献している。
23	表彰状	団体	株式会社みなみく んの卵	奄美市	独自の鶏卵・鶏肉の品質・生産性向上への取り組みや地域資源を活用した発酵飼料の開発などのほか、最近では奄美大島の特産物を活用した新しいスイーツの商品開発・販売に取り組むなど、奄美大島の農業の6次産業化のリード役として地域資源を活用した産業振興に貢献している。
23	感謝状	団体	奄美建設業協会	奄美市	平成23年9月の奄美大島北部豪雨災害において、二次災害の未然防止のため、延べ10日間にわたり、奄美市と龍郷町の10河川12箇所において重機を用いて土砂や流木等の除去をボランティアで行い、降雨のたびに河川の氾濫を心配していた被災者の不安の解消を図るとともに、地域住民の安心・安全の確保に多大なる貢献をした。
23	感謝状	団体	瀬戸内建設業協会	瀬戸内 町	平成23年11月の奄美大島南部豪雨災害において、大島支庁との協定に基づき、公共土木施設の把握、主要道路の土砂・障害物等の除去、土糞設置等の速やかな初動対応を図るとともに、寸断された道路、河川等の応急工事等においても、現場での交通規制の実施や主要道路の交通安全確保及び二次災害防止措置等の実施により、地域住民の安全確保に多大なる貢献をした。